

平成 28 年度第 2 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

【質問・要望・意見 1】藤崎図書館のこれからとコストについて、医療費についての考えはあるのか。

発言者

藤崎の図書館が今後どのようなになるのか。

現在、藤崎の図書館にどれくらいのコストがかかっているのか。

これから習志野市もどんどん高齢化していく。そうした場合にコスト面で一番重要になってくるのが医療費だと思うので、医療費の関係について何かお考えがあるのか。

市長

まず公共施設再生計画の話で平成32年に大久保に大きな公共施設ができます。そこに図書館のサービスを集約させるという形を考えています。藤崎図書館は市直営としては廃止させていただきます。例えば袖ヶ浦団地に民間の図書館がありますが、民間による運営ならばやっていただきたいというふうに思っています。藤崎図書館は施設自体が消防署の中にあるので、建物自体はなくなる。ご理解をいただきながら進めていきたいと考えています。

年間の維持費は、光熱費や蔵書自体にかかるお金、図書の返却や移動図書館の費用などがあります。大久保の中央図書館に集約させ、直営で行いますが、藤崎にも図書館ということであれば民間の図書館が望ましいと思っています。

医療費については、予防、ご高齢の方であれば介護予防です。転倒無視体操は、まさしく医療費、介護費用の低減のための施策です。あるいは健康診断の受診率を上げる。あるいは外に行きたくなるような仕掛けをつくる。これは一つの健康づくりです。引きこもりの防止。一人暮らしの引きこもりの方は多いです。そういった方は健康を害しますので、こういった対策に取り組んでいます。

【質問・要望・意見 2】高齢化が進む今、健康に対する積極的な取り組みがあるのか。

発言者

2千万人いる団塊の世代が一時期に高齢化する中、習志野市はあまり高齢化しないとあるが、健康に対する積極的な取り組みをまちづくりの中にどのように取り組んでいるのか。

市長

認知症も今や何人かに一人という人数で、身近な話になりますから、正確な理解が必要になります。そこで私たちが取り組んでいるのは、理解を深めるための認知症サポーター養成講座をいろいろなところで開催することです。受講するとオレンジ色のリストバンドがもらえます。この講座を習志野市の職員は全員受講済みです。

受講済みと受講済みでないのとで何が違うかと言うと、認知症の方が、そうでない方が分かるようになります。今まではそれすら分からなかったわけです。単に大声をあげて叫んでいるお年寄り、あるいは道のど真ん中をクラクション鳴らされても平然

平成 28 年度第 2 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

と歩いている人、そういう人たちを単に「変わった人」というふうに思っていました。でもそうではありません。認知症は深刻な病気で、しっかり配慮しなければならない方たちであるということが浸透してきています。子どもたちの苦情で「すぐに物を投げつけてくるおじさん、おばさんがいる」といったものが意外と多いです。でも紐解いていくと、認知症による症状だったということが分かり措置できたという例もあります。

そういう社会になっていくので、皆さんがいろいろな情報を集める一方で、正しい情報を私たちが伝えていくというのは非常に大切なことと思っております。

【質問・要望・意見 3】農地の都市計画について聞きたい。

発言者

鷺沼台と藤崎一丁目にある農地の都市計画は、そのまま農地として将来もおくのか、それともこうでありたいという都市計画があるのか、それをお聞きしたい。

市長

とても難しいご質問です。法令に基づく都市計画の目的には、自然環境の保全という課題もあります。そしてその自然環境の中心にあるのが農地。乱開発されないための区域として市街化調整区域になっていますが、この解除のハードルは高いです。

解除の条件として一番大切なのは地権者の考え方です。日本は、一人ひとりの権限が尊重されていますから、開発をするときには個人の意向が大事になります。自然を守らなければいけないという考え方もありますが、財産権を尊重しなければなりませんので、個人とのやりとりを慎重に行っています。

市の施策として、都市計画を変えることは考えていません。

【質問・要望・意見 4】幸楽台町会にある階段の手すりを要望する。

発言者

幸楽台町会は高齢者の二人所帯が多く、階段のある町会です。階段が二本あり、その二本とも使わないと上の済生会習志野病院の方に行けない。まちづくり予算要望で、その階段に手すりが欲しいと何度かお願いしている。しかし、他の町会との調整が付かず、やっていただけていない。

道路課の方にも何回か来ていただいて見積りもしていただいている。あとゴーが出ればすぐできるはずである。

市長

どういう説明だったのか。あとで、教えてください。

【質問・要望・意見 5】らくだ公園下の道の付け替えを要望する。

平成 28 年度第 2 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

発言者

生活道路の件でお願いがある。らくだ公園下の藤崎五丁目の幸楽台へ降りる細い道が今シャットアウトしている。付け替えをお願いしているが進まない。先の議会のときに、中央議員の質問に市長も前向きに検討しますと答弁した話は聞いている。

発言者

市長の前向きに進んでいるという回答は、たぶん新しい道を作るのに前向きということだと思う。ということは、やはり幸楽台町会の方へ降りてくる。そうすると、降りてきて済生会習志野病院に行くには、やはり階段を上る。やはりあの階段が大事ということになる。

市長

そこは民間の土地が入っていますよね。いろいろと打合せ等はしています。前向きに進んでいるのは間違いないです。

【質問・要望・意見 6】電話局前の信号を押しボタンでない信号にしてほしい。

発言者

電話局の前の信号が押しボタンになっている。青信号になって子どもたちが渡ろうとしても、自転車が前を突っ切ったりしている。何度か事故が起きている。あそこは押しボタンではなく、普通の信号にしてもらいたい。押しボタンだと思って信号を無視して行ってしまう人がいる。

市長

押しボタン信号ではなく、普通の信号だったら、通行者・横断者が共に意識するだろうと、それはアイデアだと思います。留意いたします。

【質問・要望・意見 7】通学路として使えるような検討をお願いします。

発言者

整地している菊田川付近の通学路は、津田沼から来る人も毎日通っている。藤崎小学校の児童が通えるような方法がないか検討をお願いしたい。

市長

通学路の指定の方法ですが、基本的にはそれぞれの学校が決めます。安全性を見極める一つの考え方として、下水道地形の場合の遊歩道は、家が背中合わせになるので、その間を通路にすると監視が利かず、玄関もないので逃げ場がない。だから逆に危ないという判断もあります。

学校は、一番安全な道というのを常にいろんな形で模索しているので、そのような

平成 28 年度第 2 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

考え方があるということもご理解ください。

【質問・要望・意見8】高齢者の居場所になるような場所をお願いする。

発言者

高齢者の居場所づくりについて、身近なところに地域のサロンや体操教室を作るなど、高齢者が憩える場を作っていくことが必要で、民生委員としてもどんどん作れるようにしてほしいという話があった。

しかし、公民館がなくなっていく中で、私たちはどこにそういう憩いの場を作っていくといいのか。藤崎は藤崎青年館と藤崎ふれあいセンターがあるが、ふれあいセンターは階段がある。そこに行くには坂道を上がって行かないといけない。

また、藤崎ふれあいセンターは公民館と違うので、行政の行事もない。社協で活用することはあるが、行事予定の一覧表がない。公民館のように留守番がいるところと全然違う。みんなが使いやすいような場があれば、推進する活動ができる。ぜひともお願いします。

発言者

学校の一部屋、余っているような所を高齢者が使えるようにはならないか。

市長

習志野市が土地や建物を所有している集会所がいくつかあります。現在は町会・自治会にお貸ししているが、そういった場所の活用も含めて居場所作りという観点で考えているところです。

公共施設再生計画については、確かにおっしゃる部分もあると認識はしていますけれども、あくまでも将来の財源確保というところでやっておりますので、そのバランスの中で、考えさせていただきたい。決して高齢者の居場所を奪うという施策ではありません。

学校の教室はご存知だと思いますが、空いているように見えて、空いていないです。学校長の権限になるので、校長先生との話し合いの中で、例えば森の音楽会を体育館でやったりしているので、そのような取り組みをさらに広めていくのも一つの手法だと思います。